

質問者 宮元伸成

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 マリンパルはいらない？	まもなく待望のゆぽっぽと女川駅がオープンを迎えます。今秋には駅前商店街が、来年秋には物産センターが開業して、女川の新しい活力づくりが始まります。 期待で胸がふくらむ一方で、不安も高まります。全ての商店主の心境であります。本町の人口が減少するなか、女川の顔としての商店を造るため、町外からの交流人口を増大させると言いながら、観光バスの誘致は不要との話は、これまでも議論してきた経緯がある。 女川の観光の拠点としてのマリンパルが完成して20年。エージェントとの信頼を築いて毎月のイベントに、そしてテレビにマリンパル女川の知名度は定着している。新しい商店街のにぎわいづくりにマリンパルのノウハウを取り入れながら、共に繁栄の礎を築くものとばかり考えていたが、去る2月2日のマリンパルと町執行部との話し合いで、マリンパル協同組合は「いない」との内容らしいが、以下を問う。 (1) 20年間のマリンパルの活動を「いない」との判断の真意は。

質問者 宮元伸成

[illegible]